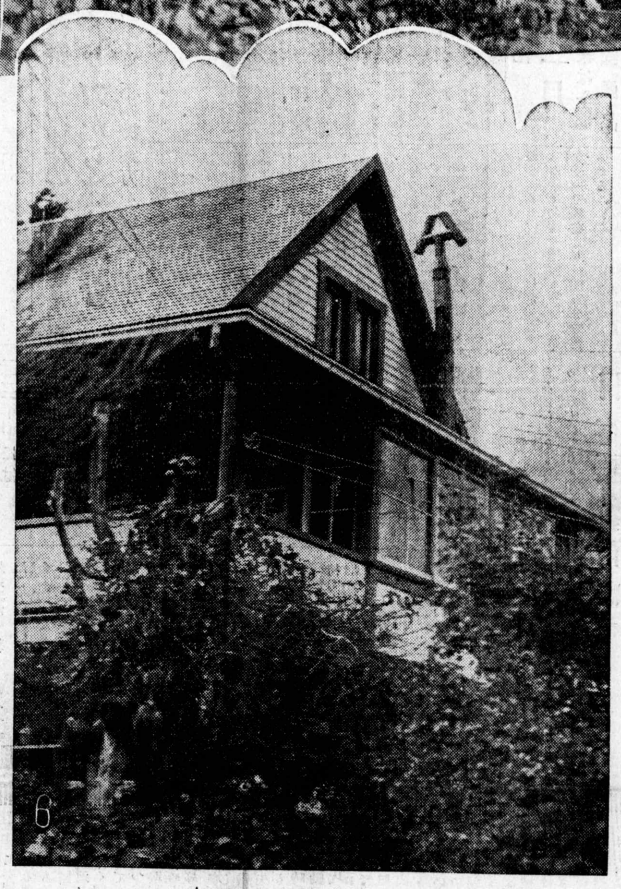
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO, CALIFORNIA,

SUPPLEMENT TO
日米新聞 The Japanese American News 附録

SUNDAY, OCTOBER 19 1930
NUMBER 11,128.



説明

1 は田中家のワイドミル
2 は故田中鶴吉氏
3 は田中家のガーデン
4 は田中未亡人
5 は岡ガーデンの一部
6 は住宅、は記念のパフヂ

東洋のロビンソン
故田中鶴吉氏の未亡人
双子山麓に餘生を送る
過ぎし日の思出を語る

記者は中秋の晴れたる夕べミセス田中を彼女のカーをホフマン・アベニューに乗り乗し、双十山麓に安らかに餘生を送つてゐる史的人物、故田中鶴吉氏未亡人(旧姓)女史を訪れる

双子山は山といふ程のものではないが、桑港灣突出でし地域中最高の地點で、桑港全市を一瞥の中に集め、遠く灣巣の都市並にマリン郡の一角を眺めて風光絶佳な地である。

道路への板敷の細道を上つて行くと、日本趣味を加味した庭園があり、稍異つた所に清酒ハウスがあるFアーをノックすると老婆が現れた。

貴女はミセス田中でありますか左樣です。貴下は？私は日米新聞社の者ですが、色々御在米中のことをお伺ひ致したくて參りました。ご都合は如何でせうか」

記者「誠にお仕合せです、御主人鶴吉氏は慶應三年十一月の御渡米、承りますが、アナタは何時頃の御渡米ですか」

明治廿年の渡米

田中「私は明治二十年十月十六日に桑港へ上陸致しました」

記者「お一人でしたか」

田中「イエ私の實母と私の子供、當吉と三名で參りました」

記者「當時日本婦人は桑港に居りましたか」

田中「居るはるたか知れません、私に存じませんでした」

記者「當時御主人はどういふ事をなすつて居られたのですか」

田中「田中は私より四五ケ月先に渡米致しました。例の井上角五郎、塚本松之助さん方と龜澤先生の命により移民地を造るために、だがどう云ふ譯か田中に失敗し、行衛も知れず、漸く尋ね當てみるとユタクルもなく落魄者となつて居りました」

記者「それで？」

夫と共に クラムを拾ふ

田中「私共はミッション第五郷のコスモポリタン・ホテルに滯在してゐる間に、私が日本から持つてまゐりましたお金もなくなり、やり切れなくなつてクロスペーのチプロンといふ所へまゐり十英哩の土地を借り、ヘー？無論百姓などやつた事でした、所がドウもうまく行きません。困り拔いた揚句漁岸へ行つてクラムを拾ひ、近海航行の船に賣つて家計を立てました。潮干時は忙しくつて、夜もランターをつけて拾ひに行きましたけれども、そんなことではとても暮してゆけませんから、愈々田中は決心してコックし働く事に致しました」

記者「最初に働きなすつたところは？」

子供を連れて コック働き

田中「サンタクルーズの山奥サマー・ホテルです、夫婦と當時一歳の子供を連れ、月五十弗で働きに行きました、これを切つかけにコック働きが五六年も續きました」

記者「なる程ソレで？」

田中「主人がアラスカのコック働きから歸り、桑港ミヤ街の住宅の前に、コック道具や衣類や一切ガラヤイ入れたトラックをワゴンに乘せたまゝ一ヶ月家へ這入りましたら其留守に泥棒がみんな盜んで行きました、その時主人が申しました、モウコックを止めろと云ふ印だ、自分もコック嫌になつた、ソレでオアフ島のオセニー劇場のタキュタローの口がありましたから、ソレに働くことになりました」

仕事を替へて 劇場働き

記者「惡い仕事替へですね」

田中「私に行つて働きました、ソレから段々手を擴げ他の劇場の掃除も請負ひ、常に日本人を八九名使つて居りました、その時主人が申しました、モウコックを止めろと云ふ印だ、自分もコック嫌になつた、ソレでオアフ島のオセニー劇場のタキュタローの口がありましたから、ソレに働くことになりました」

記者「日本へお歸りなすつたのは何時頃ですか」

田中「ハイ何でも明治四年頃岩倉使節が來られた時、君等はアメリカの何でもよいから良いものを一つ覺えて日本へ歸れと演說なすつた、ソレに感じ纖維製造法の研究を思ひ立ちフラメダで習つたと云ふことをよく話しました」

記者「日本へお歸りなすつたのは何時頃ですか」

田中「ハイ何でも明治十八年です」

記者「甚だ失禮ながらお幾つ位でせうか、ドウ云ふ動機で？」

自分より力 荒くれ男の中で 一ヶ月コック働き

田中「今より三十八九年前エンゼル島が開けるとき、私は主人と共に二人の子供をつれ、二百人からのコックに行きました、何分にも山切り開きの仕事で荒れ男ばかりで、寢る所は板の上にヘイーその上に毛布と云つた調子で私も二人の子供とソコに寢ました、女の身としては如何にも殺伐で、ソレもよいとして第一子供が海におぶなくてやり切れません、故に二ケ月目にトウ〳〵やめました。

お産は自分で 取上げる

私は渡米前既に覺悟の極の如何なる困難にも打勝——決心で御飯も炊く事も習ひましたし、それからお産の手當も御所の婆さんから習ひましたので私は渡米して七人の子供をお産しましたが、皆自分一人で始末して、みなら孫までで取上げてやりました。人間は決心次第で大概のことは出來ます、ヘー七十三歳でしたが、不相變の丈夫な人でしたが、

甘いものを澤山たべ胃を痛めました」

記者「惜いことを致しましたね歷史的の方ですが、御主人は初めの御渡米は慶應三年と聞きましたが、その後明治七年(一八七四年)當時の日本名譽領事チャールス・ルルコフ氏の紹介で、アラメダの纖維製造に働き傍ら纖維製造の研究をされ、日本へお歸りになつたと云ふことですね」

田中「ハイ何でも明治四年頃岩倉大使がお見えになつた時、君等はアメリカの何でもよいから良いものを一つ覺えて日本へ歸れと演說なすつたソレに感じ纖維製造法の研究を思ひ立ちフラメダで習つたと云ふことをよく話しました」

記者「日本へお歸りなすつたのは何時頃ですか」

田中「ハイ何でも明治十八年です」

記者「甚だ失禮ながらお幾つ位でせうか、ドウ云ふ動機で？」

自分より力 荒くれ男の中で 一ヶ月コック働き

田中「今より三十八九年前エンゼル島が開けるとき、私は主人と共に二人の子供をつれ、二百人からのコックに行きました、何分にも山切り開きの仕事で荒れ男ばかりで、寢る所は板の上にヘイーその上に毛布と云つた調子で私も二人の子供とソコに寢ました、女の身としては如何にも殺伐で、ソレもよいとして第一子供が海におぶなくてやり切れませんから、故に二ケ月目にトウ〳〵やめました。

お産は自分で 取上げる

私は渡米前既に覺悟の極の如何なる困難にも打勝——決心で御飯も炊く事も習ひましたし、それからお産の手當も御所の婆さんから習ひましたので私は渡米して七人の子供をお産しましたが、皆自分一人で始末して、みなら孫までで取上げてやりました。人間は決心次第で大概のことは出來ますね、ヘー七十三歳でしたが、不相變の丈夫な人でしたが、

量のある人 主人は義俠的の 人でした

田中「私はあの後をお話致します、私は名村五八郎(後に元度と改名)と云ふもの、長女に生まれました、父は只今見へになりませんでした。田中は公共のことゝ云へばソレは熱心する性で御座いまして日本へ歸つても米國移住を說き廻り、龜澤先生に移民實行を勸奬したのも矢張り田中だと申すことです」

記者「何か古い記念品を拜見出來ないやうか」

古い記念品

田中「色々ありましたが先年加下フライアンさんに上げて了ひました。そこにあんな古いものが飾つて居ります。

記者「御所を見ると幅二呎位に長き五六吋の繪端へ、上に日本使節と書きテー カウンレース・オブ・フイラデルフイヤとあり、其中に日米使節が交し、最下に一八六〇年六月九日とある(全部英文)して見ると年代がいふと、萬延元年我が使節遣米豐前守一行の來た年の夏である。これがドウして田中氏の手に入りしものか恐らく夫人の持つて來られたものであらう。兎に角歷史的に珍らしいものである。

次に史の數父名村五八郎氏(三十五歳)の羽織、袴と大小をたばさんだ寫眞がある。これは使節親善豐前守一行に加はつて萬延元年正月桑港上陸し四月五日首府ワシントンに於いて撮つたものであると記者「隨分古いものですね、シテ數父は御維新後は？

田中「文部省に勤めて居りました

記者「あなたは何人のお子さんがおありですか」

田中「七人であります内一人なくなつて只今は男二人女四人であります。

曾ソレ〳〵片附きまして、孫ばかり十五六人もあり皆寄るとと伸々賑やかでございます」

記者「ソレ等のお孫さん逸はよく遊びに參りますか」

孫は 可愛いもの

田中「土曜や日曜には遊びにゐります、大きなのはお祖母さんのヘレアだ云ふて家の中や庭を縱橫に驅廻してくれます、誠に孫は可愛いものです」

仲々賑かしておらでになりますがお歳は？

田中「七十四才で御座います」

記者「宗教は？

田中「キリスト敎信者です、趣味で御座いますか、花や植木が好きでご坐います、この庭園へ水をやつたり、手入れをするのは私の仕事でご座います」

記者「お子さんはドウ云ふ御方で事實ですか」

以下二面へ

CALIF. STATE LIBRARY
SACRAMENTO, CALIF.

日本近信

軍縮記念の放送試験
桑港で明瞭に聽取
濱口首相の演説は陸線で紐育へ

ラヂオ界に於て劃時的の企てである軍縮條約成立を記念する日米兩國代表者の國際ラヂオ放送計畫はわが國の正式參加により、いよ〳〵實現を見ることになつたので遞信省もその計畫に努力することに決定した、尚米への放送は手始めとして桑港無線電信局とのテストを行ふ筈で、いよ〳〵去る十七日から三日間に亘り行はれた、放送は米國のMOA無電會社マーシャル無電局との間でわが國の放送波長を使用してテストを行つたところ二十日同地無電局から「放送協會あて成功の入電があつた、これによつて現在吾國のもの受け取方が違ふわけでも十分成功するとの確信を得たものであります。

三國代表の放送實現について先日來屢々報じた通り、米國代表者の放送は事實成功するものと見られ桑港で受信口になつて居る米國のMOA無電會社マーシャル無電局との間でわが國の放送波長を使用してテストを行つたところ二十日同地無電局から「放送協會あて成功の入電があつた、これによつて現在吾國のもの受け取方が違ふわけでも十分成功するとの確信を得たものであります。

H・K仙臺の午後十時から一時まで、O・Kの午後九時から九時半までもつとも明瞭に感受されたといふことであります。しかしアレは何の程度であるか日本人が聞いたのと外國人が聞いたのでは同じことでも受け取方が違ふわけであります。

この放送波長ならば時間および季節による支障が伴はない筈であります。

今や世界の大勢、殊に米國の社會狀態は大資本の勢力範圍に歸して、小資本は次第々々に壓倒せられ一もチエーンと二もチエーンで大同團結せる連鎖的大資本の全盛時代である、機械工場も銀行も食料品店も吳服屋から藥店に到るまでチエーンが謳歌しつゝある。資本の力は今ではユニオンをも壓迫して居る有樣である、若しそれ此の儘で進んで行く場合必ずや資本勢力對失業者の反目は免れ得ぬであらう。勢ひ茲へ見ると非常に危險な岐路に立つて居る感がある。從て世界を通じて失業者の數は增加しつゝある現狀に對する解決策の講究で相當苦心して居るが、未だ確立せる具體案は見出し得ぬ吾等の眼のあたり見る米國ではこの應急手當として中央政府は市郡が失業者救濟策として種々雜多な官營工事を起し、官衙新築、鐵道の敷設、應潤、運河の改修等で其手段は極めて善いが失業者問題の解決策ではない、如何に國庫が滿腹でも無限の失業者を永久に救濟する策ではあるまい一時的の糊塗策である、隨て將來より大きな反動が來る事は夢ろ必然の結果ではあるまいか、

試みに無職業者の統計を見ると米國は無論、英國、日本、佛國、伊太利と世界中皆年々增加しつゝある、併し之れは當然過ぎる程明瞭な打算的の結果である、何となれば科學の進歩は機械の發達で從來人の筋肉を勞して成し得た働力は悉く機械の應用により減殺されつゝある、假令一人一日二顆の馬で耕した農園は、機械の力によつて約四百倍を耕し得る、之の比例によれば四百人の勞働者は失業する割合である、早い話が從來千英町の小麥を收穫までに要する日數人員は五百人役以上であるが、機械の力で一臺の耕耘機で二千英町歩を耕し得る、他は收穫期に多少の人員を要するに過ぎぬ、之れ等は單に農業許りではない、商業も工業もおしべての事業が悉く然りで、勞働社會に失職者が增加するのは當然の歸結である

他方面に於て
は萬事は組織的さなり費用の節減されることも亦偶歩ではあるまい、即ち進歩式の商業法がそれである機造設備を改革して科學の力を應用して、十人の使用人を要するも五人で間に合ふと云ふ現在式の商法で、大百貨店は如何にして最も安價に供給し得るか、如何にして最も費用を節減し得るかと云ふ事に深甚の考察を廻らして居る、否之れが成功の秘訣である事を忘れてはならぬ

然らば如何に
して失業者問題を解決する事が出來るか、誰れも即答し得ぬであらうが、無職業者の增加が機械の力、科學の進歩によりて大なる資本の力に統率される產業界の必然にもたらす結果である事は否定し得ぬであらう、爲く斷案に處するならば吾等は如何にして之の難問題の解決に處するか、曰く、協力一致巨大なる財團により自給自足の道を啓き、自ら職を求めるの途に付かねばならぬ假令在米十萬の同胞が一日一仙宛を毎日貯蓄すれば一ケ年に三十六萬五千弗と云ふ莫大な蓄財を見る事が出來る、更に一日十仙宛を貯蓄すると假定すれば一ケ年三百六十五萬弗と云ふ資に驚くべき數字が現はれる、之の大資本を擁して在留同胞は自給自衛、共存共榮如何なる大事業も容易に成就する事が出來る隨て二世の職業問題は自然の裡に解決し得るのである、生活の安定も亦得られる譯である

見よ、支那人
に大會社あり伊太利人に伊太利銀行あり、獨逸人、英人皆然り、獨り日本人のみは雄大なる資本力がない、鞏固なる財團がない、一方年々增加する第二世の將來を慮ふ時顏る寒心は堪へぬものがあるであらう、之に於て我等は擧を大にし全身の熱血を注いで、在米十萬の同胞に訴ふる所以である、即ち協力一致我等の第二世の爲めの趣の有る所を贊援助して貰ひたい、一例を擧げれば彼のイタリー銀行は千九百〇四年僅か十萬弗の資金で恰度廿六年前にジニ氏が創設したもので今では二十億の資產を有し、市俄古以西の經濟界の覇王で世界的の大銀行となつたではないか、又ヘンリーネード氏の如き僅々二萬弗の資本は廿八年間に自動車王さなり、大富豪さなつた、吾等も亦第二世中にジニ氏の如きネード氏のように、一方の資本勢力を支配する人物を出し度いのである、之れは決して空想でも空論でもない、實現し得る可能性を有する事を信じて疑はない、唯だ努力の如何によるも誠心誠意血路男進せんと誓ふのである、

終りに不肖私
は在米約三十年此間種々樣々な事業に經驗を有し、多くの人に接し、總べての方面に比較的に新らしい實情を知つて居る一人で、幸に今直ちに一家の生活に顧慮を要しない、併し私は個人的には、より以上多大の富を製求するものではない、只將來益々增加する無職業者問題を考へる時に、必ずや之れが我が第二世の頭上にも落下するであらう、然らば之の職業問題の解決法を如何にして講じてやるか、曰く、在米同胞の同情と後援によりて千載不滅的な財團の組織により自給自衛の道を啓くより外はない、故に私は終生の社會奉仕として之れが實現に畢生の努力を以て盡して見たいと思ふのである、

希くば同胞諸士賜の大雅事業を成功せしめられん事を

昭和五年十月十日

加州フレスノ市に於て

神川幸一

在米日本人共榮株式會社

濱口首相は陸線で紐育へ

濱口首相の演説は、先日も記した通り、一應ラヂオ放送で聽取した上、更に陸線で紐育へ轉送することになつたが、これは、ラヂオ放送の場合、天候その他の關係で、時に不明瞭な點があるかも知れないので、念の爲めに陸線で送ることになつたのである、

寄席に買つてくれ
白蓮女史の談

「こんだが林氏が白蓮女史の出演興業價値を見ぬんで斷つたものである

一度白蓮に會ひたい

長田幹彥氏談

この間は大阪で寫眞機を奪取られようとした長田幹彥があつた所、

地方の子女を感泣にむせしたことがあり北海道の新事業中央線甲府八王子間の電化はいよ〳〵明年一月十八日開通つき試運轉の形式で驗次犯人チャールス・イーマーフィー（三）は米國全土の警察に懸賞つき捜査中にあつた千圓の工事は約四百萬圓を要してゐるが從來電化工事に比して殊に指紋を送附して警視方を依賴して來た、犯人は機關士、ホテル電鈴、架線、信號機すべての設備はみな國產品であることであるから非常な色魔で女性へ暴行殺害し兇狀持ちである、同人はエンバルトをピストルで擊殺し日ごろから試運轉の形式で驗次開始し四月一日には全部の列車を電化することに決定したこの

中央線電化
明年一月
中味は全部國產品

女性萬歲
國勢調査で
千名を使ふ
其他にも百貨店などで二千名の採用申込

十月一日國勢調査が行はれるに際し內閣統計局には全國から尠なからざる調査結果の報告が集まりその整理に多數の人員を必要とするので、その募集について東京職業紹介所、相談中であつたが十一月を期して約千名の女事務員を採用することになつた、なほ東京府統計課でも百名の女事務員を使用して布內の國勢調査の結果を整理することになり、資格は二十才以下小學校または女學校卒業程度で、職業紹介所に申込んだ、最近小學校卒業六十餘、高等小學校卒業七八十餘、女學校卒業二十餘、女事務員の求人は非常に增加の傾向にあるが、之れ等の人員は殆んど全部百貨店で採用されるものと見られる

歐洲と南洋へ
便利な手紙電報
十一月一日から實施

（デーリー・レター・テレグラム）

二三年中には
立直らぬ
世界的不景氣

津島財務官歸朝談

歸國の途にある津島財務官を列車中に訪問し歐米財界の近狀について聞いたところ、

第二面より の續き

日本語教育は
ホントに必要

田中「日系市民である以上日本語を解し、日本のことを識り又日本のよい所を學ぶ必要があるとヲヂ〳〵思ひます、

唯我獨感

塵も積りて山

家貧しふして
孝子出づ、國亂れて忠臣現はる、窮すれば通ず、吾等は資本の勢力に壓されて日々貧困の極に逐はれて居る、世は失業者が群をなして其數は每日增加しつゝある、吾等にパンを與へよと絕叫せざるを得ざる時期が來る事を忘れてはならぬ、誰か家貧しくして孝子出づるを知らんや、窮して通ずるの道を叙へざる、噫忠臣あらはれて亂れたる國家を救はざる

釋迦は三千年
の昔既に宇宙の眞理を發見し、天地の道德を說いて萬衆を慈悲で導き、基督は人類愛を以て導いて居る、乍併釋迦や基督の再生せざる限り、現代社會から資本と失業者が食はんとする餓鬼の衝突は免れ得ぬであらう、慈悲も愛も聖哲の尊き教へも、現代社會狀態の危險を救ひ得ぬであらうか、眞に釋迦の慈愛基督の愛により共存共榮の道を啓く者は無いであらうか、

見よ、現代社
會の情勢ら富める者は益々富み、貧しき者は愈々貧しく、貧富の隔りは次第に遠くなり、數の上から見ても富める者は少なく、貧しき者は多い、暗雲は日を追ふて濃厚さなりつゝある、鳴呼危い哉、物質文明も亦悲しむべき結果を誘致するものではあるまいか、斯く感じ而も慮ふ時、眞に共存共榮の實を擧げ得るものはないであらうか

世は既に大勢
は決して居る今に及んで個人個人が如何に努力するも大成は望み得ぬ、否々小資本は肺病患者の樣に一日每に細り行く、大資本の勢力に依りて血液は吸收せられつゝあるのである、危險なる社會情勢に遭遇する時が必ず來るであらう、此の時に方りて吾等在米同胞は如何にして此危地を脫し得るかを考へたならば思ひ半ばに過ぎるものがあらう、一致協力、一日一仙乃至十仙を貯蓄して堅固不動の基礎に據り共存共榮、泰然自若として大資本の壓倒を未前に防ぎ得るのである、之れ即ち吾輩が大なる犧牲を以て大聲叫呼し計畫の成功を在留同胞諸君に訴ふる、以てである、大なる決心さ覺悟を以て邁行に勇進せんと欲するものである、宗教家も學者も商人も農業者も勞働者も悉く吾輩の意の有る所を諒さして、一人殘らず贊成して、擧つて參加され事を希望するものである共存共榮の途に進まん事を偏へに冀ふの外他意はないのである

第一　資本金の全額を確實なる銀行又は有價證券にて保管して置く事
第二　組合員聯買部
第三　檢出入業部
第四　農事部
第五　有價證券の賣買部
第六　法務部
第七　貯蓄部
第八　金融部
第九　教濟部
第十　職業口周旋部
第十一　General Business Agency
第十二

投壇

ピラトに投影するもの

有馬甫

ピラトは羅馬帝國を代表して差遣されたユダヤの總督であつた。彼れはユダヤに於ける政治の頭腦者であつた計りでなく司法の最高權威であつた。國内に起つた重要事件は彼の審判に待たなければならぬ。そこにイエスの事件が持ち込まれたのである。ユダヤの總督として派遣さるゝ程の彼は決して凡庸の人ではなかつた筈である。當時ユダヤの社會に一大センセーションを惹き起して居つたエスの行動をまた彼が如何なる人物であるか位は少くとも辨へてをつた筈である。そこにエスは引き出されて彼の審判を待つことになつた。

○

ピラト自らこの義者の血に我れ罪なし、汝等自らそれに當れと、ひながら遂に千古の義人をヨセフの手に渡し死に處してしまつた。何故彼はたゞしき裁きをなし得なかつたか我等はピラトに人間共通の弱點を見ることが出來る。

彼れが心理の些細に凝視すれば彼れの意志は彼れの良心以外少くとも二つの力によつて支配されて居つた事實を見ることが出來る。一は民衆であり、一は彼の妻である。エスの如き罪なき義人の血を故なくして流すことは確にピラトの良心の忍び得ざるところであつた。然しユダヤの社會は新人エスの畫期的宗教とその異常なる人望によつて搖し彼れの名聲高まると共に一方には彼れに妬み惡感情が狂濤の如くうづ巻いて居る。義によつてエスを放免せんか、エスに對する民衆の激情は當然總督たる彼の不人氣を將來することはあきらかである。彼が自己の人望を毀損することは彼れ自身の地位を危くすることである。

彼れはこの重大な審判の臨に立つて自己の職責、天職よりは自己の利益を先にし、自己の良心を僞つて無分別な俗衆のモッブに媚びてしまつた。二千年後の今日我等は振返つてピラトの醜を不甲斐なさを見て遣る瀬なき義憤の血を燃やさるゝけれども、しかし斯うした弱點は今日依然として人間共通の事實として社會に曝露されて居る。

政治家にこのタイプがある。一は自己の良心に卽して民衆を指導する人々であり、今一つは自己に良心なくして民衆に媚び民衆に支配さるゝものである。

ニュジャシー州やニューヨーク州に有名なウエット州である。ニュジャシー州選出前上院議員現駐佛大使ウエヅは有名なウエットである。今度立候補したモーローも禁酒法反對を標榜して居る。ニューヨーク州知事フランクリン、ルーズベルトがモーローと同樣禁酒改正を宣言してをる。しかも彼れ等自身飲酒しないと語つてをる。何故彼等が禁酒法に反對するか。自己の地位を得んがために良心には飲酒の怖るべき弊害を知りつゝ低級な民衆のセンチメントに迎合せんがためである。イリノイ州選出上院議員マコミック夫人の如きは一般民衆が禁酒法を非とすればそれに從ふし、是とすればまたそれに從ふと公言してをる。政治家としての自己に提供する國家的大問題に對して何等の定見もなければ良心もなくたゞ政治的一地位を得んがために焦慮する心理狀態を赤裸々に曝露して傍觀するものに一種の淺ましさを感ぜしめる。

しかしそれは單に政治家たるに止まらない。日常の言論機關に於いて、また多くの公人生活に赤裸々にその事實を見ることが出來る。彼れ等に事實を正しく批判する理性が缺けて居るのではない。嚴正なる自己の天職感と良心を踏みにじつて、只管民衆のセンチメントに迎合せんこと、利害の打算からである。

米國の一雜誌は英國勞働黨の道德的危機と題するアーチクルを掲げてをる。勞働黨内閣の一閣員オスワルド、モスレー氏が内閣を去つた。彼れは貴族の貴族、謂はるゝカーゾン卿の女婿である。彼れは勞働黨の社會主義政策に至大の期待を有ち去つて勞働黨のために盡瘁しつたが去る夏勞働黨が失業者救濟策に就て議會通過覺束なしと見るや自黨内閣安全のために殆ど同案を骨抜きになして保守自由兩黨の意を迎へんとした爲めに憤慨して内閣を去つた。この一事によつて天下の輿論は勞働黨の重大なる道德的危機迫るとなして警鐘を打ち鳴らしてをる。

デモクラシーの政治はその精神に於いてその組織に於いて如何に優れたものであるにしてもその當時者が自己の良心をくらましてたゞ民衆に迎合し媚び識になつてその弊害腐敗の極に達する。筆をとつて天下に見わんとする記者また然りである。

アブラハム、リンコーンは良心に卽して立ち天下に指導する大人格であつた。奴隸問題にして民衆の輿論は如何に區々であるにしても半奴隸半自由は許さない。彼れは米國を試練の祭壇に捧げても良心の命ずるまゝに戰つた。

ペンシルベニア州はニューヨーク、ニュゼシー兩州に劣らないウエット州である。しかも同州知事ピンチョト氏がルーズベルト直系の進歩的理想主義者として、ドライを標榜して同州知事たること十餘年今年また當選に大捷してをる。

マッキンレーが大學入學後間もなく學校の禮拜時間に全校學生の前に進み出て謙遜に頭を垂れて信仰を誓つた。

Yes Lord I Believe And Follow After You

然り主よ。我は汝を信じ汝に從ふ。

彼れは學校の教師にもなつた辯護士もやつた。神を信じまた從ふことは良心に從ふことである。彼れは遂に大統領になつたカントン市のコートハウスに彼れの遺骸を藏むる棺は國旗に包まれ偉大な指導者は全米國人に深甚の印象を殘して世を去つた。

微かなそして鋭い良心の聲に聽くことは神に聽くことである。より微かな聲にたわず耳を傾けねばならぬ。我れ等が一度び社會に出ると微なる更なる良心の聲は殆ききこわなくなつてくる。良心の正しき批判にきかねばならぬ場合でもそれはピラトを等しく先づ自己の利害から打算し人々の顔色やセンチメントに依つて動くのである。

○

今一つピラトを支配したものは彼れの妻である。ピラトの妻がどんな女性であつたかは多く知るよしもない。當時ローマ政府は危險な遠隔の屬領地に赴任する武官或ひは政治家には妻の同伴を禁ずる方針であつたがピラトがその妻を同伴した事實から推して確に親密な夫婦の間柄にあつたと思はれる。それ丈け夫に對する感化も強かつたことであらう。エスが審判の場合に於ける彼女の態度に決して惡意はない。否寧ろ積極的である。義人と知[illegible]それを積極的に保護し得なかつたところに彼女の弱點がある。

婦人は多くの場合消極的であるかしかし、男子に及ぼす感化は實に大きい。結婚して男子が今までの性格が變る人が尠くはない事實に徴しても判る。

偉大な事業をなすものは男子である。しかし偉大な民族を創造するものは婦人である。清教徒が初めてプレーマウスに上陸して新大陸に一冬を過ごす間に約半數以上の老幼男女が斃れない氣候と不自由な生活のために倒れてしまつた。母國を離れ二ケ月に近い難航海の後に嚴寒を凌ぎ糧食の不足に堪へインデアンの襲撃の危險を忍びつゝ、これから愈々新生活のスタートされんとするとき命と賴む夫は倒れ愛兒には先き立たれ悲痛失望の極に陷つた場合彼れ等婦女子はメイフラウアーと共に母國英國に歸ることをすゝめられたけれども、一人も歸るものはなかつた。僅に生存したピューリタンの一團がこの男敢なる婦人達の信仰と意氣に如何に強く激勵されたことであらうか。今日世界を指導する米國人は斯うした婦人達の偉大な信仰に感化されその精神の流れを汲んで居るのである。

ジョン、ウエスレーがまだオックスフォード大學の助教授をして居る頃であつた。米國から歸つた一人の事業家がジョージャ州及びその附近にあるインデアンのために適當な傳道者を要する話をきいて彼は非常に動かされた。是非自らその任に當りたいと心に燃やされたけれども、顧みると人生の苦心つぶさになめて徒に老年を生き長らへて居る母のことを考へ一時は思ひ止まつたが、とも角インデアン傳道の必要な一事丈を母に物語つた。母はジョンの傳道の希望を差止むるであらうと思ひの外、もし自分に二十人の男兒があつたらそれ等を一人のこらず傳道の爲に捧げたいと語つてジョンを勵まし遂に米國傳道を開始する機會を與へた。

日本人教會總理スミス博士の令孃はカンサス大學を最高名譽を擔うて卒業された才媛であるがこの秋二人とも日本に宣教師として出發することになつて居る。スミス夫人は母らしき言葉を以て語る。私共夫婦二十年餘日本に朝鮮に傳道者としての苦心をなめ、子供には米國にあつて幸福なホーム生活をと思つたが子供達はまた親達の志をついで生涯を日本のために捧げたいと云ふのである。

我等同胞第二世のために國語を教ふることも必要であり劍道や柔道もないよりはましであらう。然しそれにも增して必要なことは第一世の父であり先覺で顧みるものが偉大な今日の日本を創建した武士道の精神を理解し第二世に教ふるにあらずして自らその精神で生活することである。義を重んじ名を尊び主君に仕へるに二心なき忠誠の心と、命をすら寄易く義のためにさゝぐる英雄的行爲は少くとも武士道の精華であらう。南洲は敬天愛人と云ふ。斯うした偉大な先人の精神的境地を解しなくしてまた精神的訓練なくして徒らに武藝の末技に第二世何の偉大な精神が養はれやうか。

ユダヤ民族が三千年の間誇るべき安住の祖國を有せず世界の到るところに假寓流轉の不幸な民族であるに拘らず今日尚最も特色ある大民族として世界文化の一大要素である所以は彼等の宗教的家庭の健實にありと云はれて居る。家庭が神を主とする偉大な王國であり家庭の中に神を禮拜し隣人愛の生活が營まれることに依つて初めて大民族が生れ出やう。

洋食店界の快男兒　百萬兩の腕を語る

（フレスノ田中倉次郎氏）

○

葡萄不振で不景氣風の吹き荒ぶ、フレスノ市の最販商業區域に、少くともスタクトンからベーカスフヰルドの間では、日白人洋食店をこめて、これ位最[illegible]（七萬五千弗投資）のものは名實ともにないといふ。素敵なカフエーを開き布市の同業を數百人顧客の幾萬人を驚倒せしめつゝ田中倉次郎氏

○

「思ひつくと、寢ても覺めても遣り通さねば腹の蟲がをさまらぬ性質、他人に相談したり、家族に打明けたりして、ケチをつけらるゝが厭やなので、愈々着手といふところまで事が運ぶまでは獨斷專行すると」いふ彼れ

○

街に店を出すことになつた。

ある朝妻君にこの會話——

「エフ街（投資三萬五千弗）のだけで、兄弟三人の一家族八人が、氣苦勞なしに暮してゆけるのを、何といふ又突飛なことを思ひ立つたものさ——」

「馬鹿ッ、俺はレストラントにかけては、百萬兩の腕をもつてるのだ、この腕が可惜、樂に暮す位のことに、持腐らすといふ法があるのか」

○

「でも、あなただつて、求めて苦勞するのは損じやありませんか、エフ街は雇人に任せても、人以上の暮らしはたち、あなたも好きな琵琶でも、彈うたでも樂んで居る方がいくら氣樂だか判らんワ」

「ケチ臭いことをいふものぢやない、もしか失敗したつて俺れはお前がたを路頭に迷はさぬ丈けの自信がある。保險に萬一の用意を積んであるから死ぬまで奮闘するのだ。大船にのつたこゝろもちで、細工は粒々仕上げを後覽じろだ」

○

彼れ田中には、抑へんとして抑ふる能はざる事業慾があるのだ。彼れ田中には一時の挫折に眉一つ動かさぬ太ッ腹があるのだ。彼れ田中にはフレスノ市で上は市長から下ガベーヂ、マンに至るまでに、贔負にされるポピュラリチーがあるのだ。彼れ田中には肉を切らせば、幾百斤切つても一オンスとかけ目が違はぬといふ、稀代の技術があるのだ。彼れ田中には、レストラント界を左右するといふギリシヤ人なぞを眼下にみおろす經營上の手腕があるのだ。

○

彼れは十六才のショートパンツで、一八八九年にタコマについた。皿洗ひ、コックのヘルプなぞを一二年やつたが、持つて生まれた事業慾は、永く人の下に働くことを許さなかつた。シヤトルで小さな洗濯屋をはじめたり、靴みがきをしたり、バンクーパーでチキンの天ぷら呼び賣りといふ奇拔をやつたりしたビル、フエーヤを讀みかきする丈けの英語が必要だとして、夜學校へも通つた

○

流れ〳〵てフレスノに來たのが一九〇九年、フラレ街の活動寫眞小舍の側で、アイスクリームの露店——玉突——人夫の請負——エフ街にさゝやかなランチカウンター等々

○

そうこうしてるうちに、レ[illegible]スに葡萄園を買つた。[illegible]黃金時代、一九一九年[illegible]つて三萬内外を儲け[illegible]實つた彼れは、四五の[illegible]合してマセド郡に千二[illegible]葡萄園——ハイウエー[illegible]を起し、半分のインタレストを所有し、その社長——！時價四十萬弗と評價さるゝ、葡萄業界の一成金となつた。

○

ローヂング公園附近の布市郊外に、三萬弗をかけた、豪壯華美な住宅——「田中御殿」が、道行く人の眼を聳しめたのもそのレーズン黃金時代の副產物であつたのだ。

○

泡沫よりも淡かりしレーズン黃金時代の悲哀は、ハイウエーファームの大葡萄園には迫つて來た。不運は重なるものか「田中御殿」は一夕の祝融に見舞はれて、一片の灰燼と化した。數萬の負債の重圍を破つてエフ街の洋食店へ背水の陣

○

強健無比の健康と、七轉八起の事業慾と、失敗に屈托せぬ太ッ腹と、そしてイの字からスタートする腕と、そしてフランクならばといふ、白人側のポピュラリチーが、僅さして彼田中に殘されてあつた。

でも彼は農園の失敗を一擧に恢復しやうとする、投機心——彼の事業慾の一變形だが——が一種のクラブを思ひつかしめた一九二七年それは州官憲の檢擧を蒙つて、四ケ月間の郡監獄に起居する身とならしめた。しかも彼れは四ケ月の獄中生活に、體重二十斤が增した。（つゞく）

日本送り御歳暮品大賣出し

▲秩父丸（十一月八日桑港出帆）にて發送（日本全國どこ迄も）

皆樣のお勸めにより第七回目の日本送り御歳暮品の取次を開始致しました。何分面倒な日本の輸入通關手續きや日本内地の配送等全部弊社が責任を以て御引受致し、皆樣方は少しの御心配もなく居ながらにして而も割合に安價の方法で御近親を喜ばせ或はお友達間に御無沙汰勝のお詫ともなりますので年々其取扱ひ高は增大し合衆國は申すに及ばず、加奈太、メキシコ方面よりの御申込みをも多數取扱つて居ります。總じて品物は日本で一番歡迎される米國の名產品そろひで、況んや是を日本で戴かれる方々のお喜びは格別と見え日本の皆樣より毎年澤山のお禮狀を頂戴するに依つても御滿足の程が察せられます。毎年お送りの方々は日本でも亦あてにして待つて居られますし、未だお試みにならぬお方は、せめて此の機會を逸せずお國許のお子樣方や御友人の方々に洩れなくお送りになるやうお勸め申しあげます。昨年の成績を見ますとブルーローズ米、末廣米を始めとし果物鑵詰シュガー、コーヒー、レーズン等隨分多數の御申し込みがありまして何つれもお國許から丁寧な御禮狀がまゐつて居ります。尙美術箱入の萬年筆とペンシルも大變重寶がられました。何卒別表の内より何か一つでもお選みになつてお送りの程お勸めいたします。御承知の通りの日本の現況で御座いますから皆樣の御想像以上にお喜びになる事と存じます。販賣値段もすべて昨年より勉强いたしました。

昭和五年十月

桑港　太平洋貿易株式會社

◀申込所▶

桑港　太平洋貿易株式會社本店　460 Battery St., San Francisco, Calif.

羅府　太平洋貿易株式會社支店　345 E. Second St., Los Angeles, Calif.

櫻府　太平洋貿易株式會社精米所　1515 Front St., Sacramento, Calif.

◇値段

左記の値段は海上運賃、保險料、税金及び内地運賃諸掛一切をふくみ受取人の最寄りの鐵道驛又は港まで御屆け致す値段で是以上の費用を申受けません東京、横濱、大阪、神戸の各市は市内配達をなし、其上一個につき廿五仙値引致します。但しオレンヂは東京、横濱、大阪、神戸の市内配達だけさし値引はありません

末廣米（新米）	二重袋入　百ポンド一袋	六弗五十仙
ブルーローズ米（リバティー印）	同　同	七弗五十仙
サンキスト印　果物鑵詰（桃十二鑵、アンズ六鑵、パイナップル六鑵）	一箱（中鑵廿四入）	九弗五十仙
アスパラガス鑵詰（ラージ ホワイト）	一箱（角大鑵廿四入）	十弗
砂糖（クーン シュガー　正味六十ポンド入）	一箱　五ポンド入紙箱十二個入	八弗七十五仙
M・J・Bコーヒー	一箱　一ポンド入十二鑵	八弗廿五仙
イーグル印ギラデリス　チヨコレート（粉）	一箱　半ポンド入十二鑵	六弗五十仙
サンキスト　レーズン（種子ナシ）	一箱　一ポンド形四十五箱	八弗五十仙
サンキスト　レーズン（種子ナシ）	一箱　一ポンド形二十四箱	四弗七十五仙
サンキスト　オレンヂ（ネーブル）	一箱（百二十大入）	十四弗
クリスタル ホワイト　ソープ	一箱　百個入	六弗七十五仙

（オレンヂは東京、横濱、大阪、神戸市内配達だけ）

左記の値段は税金凡そ三割五分や書留小包料金等全部の諸掛りをふくんで居ります其値段は日本全國均一で是以上の費用はかゝりません、そして日本の支店より小包郵便にて送らせます

ワール會社製　フワウンテンペン（十四金ペン）エバシアープ、ペンシル（上等）	一組　美術箱入	五弗
エヴアレデー　安全剃刀（ニッケル ケース及附）	一組	一弗
溫泉の素（スパー）	一箱　十二回分五瓶	五弗

▲日本にたける輸送方は便宜上左記の東京、大阪、兩支店にて取扱ひますが萬一不着其他の事故ありたる場合は責任を以て解決致しますから絶對に御安心下さい

東京市丸の内ビルヂング七〇三區　太平洋貿易株式會社支店

大阪市西區土佐堀通一丁目三十五　太平洋貿易株式會社支店

▲御注文と同時に小切手又は郵便爲替御同封下さい

一、締切り期日　十一月廿一日までに弊店着の事

---キリトリ線---

御歳暮品日本送申込書

▲末廣米（新米）　俵　金　弗　仙
▲ブルーローズ米（リバテー印）　俵　金　弗　仙
▲果物（取合せ）鑵詰　箱　金　弗　仙
▲アスパラガス鑵詰　箱　金　弗　仙
▲砂糖（正味六十封度入）　箱　金　弗　仙
▲エム・ゼー・ビー・コーヒー　箱　金　弗　仙
▲チヨコレート（粉）　箱　金　弗　仙
▲レーズン（四十五包入）　箱　金　弗　仙
▲レーズン（二十四包入）　箱　金　弗　仙
▲サンキスト オレンヂ　箱　金　弗　仙
▲ソープ　箱　金　弗　仙
▲萬年筆及ペンシル（美術箱入）　箱　金　弗　仙
▲安全カミソリ　組　金　弗　仙
▲溫泉の素（スパー）　箱　金　弗　仙
合計金　弗　仙也

送り先（アドレスはハツキリ御記入下さい）　縣　殿行（最寄の鐵道驛又は港名）

右は貴店御歳暮品日本向輸送規定に依り代金同封仕候間上記の名宛へ御發附被下度此段申込候也

昭和五年　月　日

申込人（日本字）

アドレス（英字）

太平洋貿易株式會社　御中
PACIFIC TRADING CO., Inc.
460 BATTERY ST., SAN FRANCISCO, CAL.

昭和五年十月十九日（日曜日） 日本 昭和二年一千百廿四号

文藝

▲アの切 水曜日 ▲脱名 文藝部 ▲学情 明瞭に

無産者文學と現實主義

マイケル・ゴールド

―1―

勞働者達が熱練された機械工であり、水夫であり、農夫、鐵工であるなら、プロレタリア作家は、彼等の仕事をば夫れ等にピタリと合ふテクニカルな精確さで描寫せねばならぬ。

勞働者達はヤクザた漠然としたデタラメな詩的情景の描寫を、丁度彼れ等が、生牛可な仕事を見て鳥み嗤ふやうに、せら笑ふに相違ないのだ。ヘミングウエイやその他の作家は夙に、これを知つて、彼等の作品にこれ等プロレタリアン素材を取り入れてゐるが、それは併し嗤ふ口に對して用ひたばけでこの方法はよく俳優が、ギャングスター（馬鹿漢）の最似をするに試みる。

これ等の作家達は確に一つの機械を作る。そして其に動くであらう然し何もの生産せぬのだ。事實それは生産すべく作られたのではなく單なる玩具を作るものよりほかはない。

―2―

プロレタリアン・現實主義は、生活のための人間の現實の生々しい爭鬪とつながるものだ。それは懶隨なボヘミアンの病的な心理狀態や、腐敗たる紳士主義や、彼等の感傷主義、彼等の美しい無駄話とはきうすることも出來ぬものである。最も劣惡な、そして吾々が最も嫌惡すべきものこそ、ブラウストのスペクタクルである。それこそプルヂョア文學の自瀆行爲に過ぎぬのだ。

吾々は飢渇の苦痛や、迫害された數多の英雄的行動よりも、これらの高慢、馬鹿げた、つまらぬ苦心なし、誰にでも充分、いい題材であることをハッきり知つてゐる。

―3―

プロレタリア・リアリズムの基礎は、勞働者の生活の中にある。

―4―

プロレタリア文學は、勞働者の生活の中から、新しい題材を取り入れ、新しい技術を發見し、新しい人間を創造しなければならぬ。

それは、より一層重要なる精確にブループすることになるであらう。そしてこれこそ、プロレタリアン・リアリズムによつて成されてゐるものである。

―6―

素速い行動、鮮明な形式、直線的なライン、言葉のシネマ的以上はプロレ・リアリズムの規則の一つとみられる。それは明確に、それが行つてゐるあるかを知る。それは、プロレ・リアリズムの美しい若やかな清遒さを作るため働く。

―7―

勞働者のライフを卑俗なのにするプルヂョア理論や貧民窟の臭氣や、役にも立たぬ感情なんかたゝきのめす必要がある。何となれば、そこには遊離と一緒に何處かへなくさつてしまへ勞働者の生活には恐怖と自墮落とがある。そして吾々はそれをも描くであらう。しかし吾々は、それが最後の言葉でないことを知つてゐる。吾々は又この推則は未來への希望のためであることをも知る。われ―は更に、ヒルミズム（感覺主義）でない革命的感情がこの憐れな勞働者の現實を永久に、世界から吹き飛ばして了ふであらうことを知つてゐる。

―8―

人間性に關する總ての虐傷は感情の混合體である。われ―はサイエンテストだ。われ―は人間が認識し感情し得るものを知る。總てのものは感情で、われ―は吾々自身の立場を獲得するために吾々の英雄について嘘をつかぬ。純眞な小兒の如き單純、熾烈さのみが、古い文學派を絕越するプロレタリアン・リアリズムを作るのだ。

―9―

例へプルヂョア作家のメロドラマト息づきるような緊張さや實感は毫もないとしてもわれ―無產者の人生それ自身の至高のメロドラマである嵐の如く激しく、熱的な情感をもつて人生に觸れよ。その時こそ總てのものは詩となる！！所謂「平々凡々人」がもつマテリアルの新しき詩！！そして勞働者は彼（眞實なる世界を變革するのだ（木下徹譯）

◇

そして耳にする

加川文一

—Drawn by Jan Matulka

自分のことだけ心配する頭腦は淋しかつた。それらの負傷はしかし、吾々によつて充分に忘れ盡されなくてはならない。

昨日は今日じゃなく、その今日は最早、笛の孔にむすびつけてあるのではない。

何物に捧ぐべくもなかつた一つ―の鉛直な魂がつながり合つて

自分のものとした生活を

自分のものとして呼吸し

自分のものとして打ちたてゆくのだ。

吾々の骨の思想は、

埋れてゐた吾々の骨の思想は

汗、肉體によつて解放せられる。

きん底はパンによつて語られなければならない魂のみ、知る歌を、

思想を、

吾々は廢墟と煤煙の底から持出す

青葉の明るいさゝやきのかはりに

吾々は知つてゐる、

そして耳にする

今日や吾々の仕事に明確、憎々しい肉づけをする

重たい鐵槌、響きを、

蒸氣、しらべ革い音を―。

自分のことだけ心配する頭腦は忘れられなければならなかつた。

人間と人間と、

そして人間と物質が

とつ組合ひ、結ぼする鉱鋼なこの法、力の

中から、新しい頭腦は見出だされねばならなかつた。

云はれる澄江の橫顏は、蒼

創作 青年

土橋さうり

―三―

その節りだつた。

街燈の光で、路傍樹の葉はきら―光つてゐた。美しいと云はれる澄江の橫顏は、蒼く光りについてゐた。

「活動さんなだつた？　皿なんか吐いて氣味惡いのね」

「何だか物凄い顏をしてるぢやない」

靜かなる秋晩を浴びてわが庭に舞ふさゝ鳴のかなしかりけり

半僕氏の吹笛側面觀を讀みて

秋雨のそぼ降る日なり君が歌よみつゝひとり笑ひこぼしつ

血が言ふ　糸岡流三

外からの刺戟もうたが内からの眞の力で蒼び起たなけや

在來の繁文褥禮形式歌はやめて直接胸にくるやつ

貶されてたところで彼の存在は存在である君と同じに

米人に裏面まで理解せられたら知つて愛想つかされるのにミソもクソもこた混ぜになり働けど身內流れる血が承知せぬ

血壓　遊佐半僕

桂庵の球場に球を突く金も失せて火鉢に手をかざしてる

椎拳さいふ一枚の紙を交付して搾取自由は現代の法律

秋　池上耕涯

朝の四時水番してをるわれの肌に冷たい風にたのよくヒヤリ～さ冷たい風が吹く畑のポチの花が大!!ゆれる影

ホー持つ女か汗をふいてゐる黄ろい秋の太陽のかゞやき

丈餘にのんだアンフラワーの花その野路に走る朝のカアーの心地

暑い秋の風葉だ二人のトランプをわがカアーに乘せる

△　×　△

月

永野幻花

山腹に霞けぶれる大嶺のそがひに細き弦の月代

しん～さ四方の物音々絕ゆて月の下びに葉ぞ眠れる

愛ひつと靜れし夜半の窓の見る月ま蒼なり蟋蟀の啼く

夜半は風吹きうれ弦月の光まさびし草の穗波に

新月の匂ひ寒げき庭にしてかそけく搖るゝ淺き木の影

眠さめれば窓ゆ入る月まさもなり影像の如き友の寢顏に

秋たつ頃

谷間美咲子

わが部屋の窓ゆすり折々に吹き入る風も秋さなるらし

かたみにさき植えたる菊の花咲き初めたりさ女には書くも

秋めきてまづ咲き出でし菊の花みつゝはろけき入を思へり

白菊の花咲き初めしわが庭の靜げき書を鳴舞ひ下りぬ

係より

▲井上る城氏對柳汐水氏の短歌に關する論爭の投書掲載は一つ打切りにいたします

▲最近また住所と本名のない投書がふへて來ました。女名は別として、自分の力作に對して堂々と名乘つていたゞきたいです。當方ではそれにより、投書家をテストを作り、時折作品をお願ひいたしたいと思つてゐますから、全欄を通じ、新人大歡迎の▲井上勇氏フランスより十一月末に歸米のはず

▲中川卓氏病氣の處、成程は今年一杯、醫師の命令で休養することになるであらう

▲加川文一氏の詩拜受出した。希望者はスタンフオード大學へ轉學された

▲ボッタス八六八へ

▲毎月數種の短歌雜誌が贈讀ゝて、歌道に精進せしと思惟―てゐるとか、俺が選稱してやるとかと、餘りがの靈助だんかはよしてくれ、西村陽吉先生に讀まれるこ思ふと恥かしくて冷汗がでる、尤も高山樗牛の「文は人なり」といふ警句は萬葉集には載つてゐないが！！

天狗さんお鼻の鼻が邪魔になり廣い世間がうまく見わまい

こんな、へなぶりが數年前の日米に載つてるこつけ！！

（詩人玄想生）

消息

▲桑港文藝協會の文藝講演會は都合により十一月八日夜リフオームド敎會に行はるやう變更された

▲井上勇氏フランスより十一月末に歸米のはず

▲中川卓氏病氣の處、成程は今年一杯、醫師の命令で休養することになるであらう

▲加川文一氏の詩拜受出した。希望者はスタンフオード大學へ轉學された

▲ボッタス八六八へ

▲毎月數種の短歌雜誌が贈讀ゝて、歌道に精進せしと思惟―てゐるとか、俺が選稱してやるとかと、餘りがの靈助だんかはよしてくれ、西村陽吉先生に讀まれるこ思ふと恥かしくて冷汗がでる、尤も高山樗牛の「文は人なり」といふ警句は萬葉集には載つてゐないが！！

天狗さんお鼻の鼻が邪魔になり廣い世間がうまく見わまい

こんな、へなぶりが數年前の日米に載つてるこつけ！！

（詩人玄想生）

▲桑港文藝協會の文藝講演會は都合により十一月八日夜リフオームド敎會に行はるやう變更された

▲中川卓氏病氣の處、成程は今年一杯、醫師の命令で休養することになるであらう

▲加川文一氏の詩拜受出した。希望者はスタンフオード大學へ轉學された

▲ボッタス八六八へ

▲毎月數種の短歌雜誌が贈讀ゝて、歌道に精進せしと思惟―てゐるとか、俺が選稱してやるとかと、餘りがの靈助だんかはよしてくれ、西村陽吉先生に讀まれるこ思ふと恥かしくて冷汗がでる、尤も高山樗牛の「文は人なり」といふ警句は萬葉集には載つてゐないが！！

天狗さんお鼻の鼻が邪魔になり廣い世間がうまく見わまい

こんな、へなぶりが數年前の日米に載つてるこつけ！！

（詩人玄想生）

文藝ポスト

▲サロン・ドートンに作品を「搬入した」さいふ通知がパリーの藤岡昇から在米の知友に舞ひこんだが、さて何人が「入選した」といふ通知をうけるか之がみもの。當の薄伯はマネガニーの落葉をガサガサふみしだきながら「天才は彼の創造衝動をしらしむるのみ、從つて其の結果の如き！！それ凡人の關するところ」と獨言したとかせぬとかパリの噂妓が云つてゐます

（アイ・アム生）

▲ポストでパリーのいとも華やかなる生活を素々破被かれた是非、在米のCちやんより切り抜きを送られて大フンガイ。名譽恢復を狙つて來てゐる。改めて後に擧明書を出すとある

（ランニング・ファン）

▲新藩米の小國千浦伯は大分日本に修養を積んだものとみわれ追分がうまくなりました。今度文藝講演會では獨唱なるさうで、今から邦人街、演物域は相當の手段を客究中であります

（スンバイ生）

池田豐緋はんは、過日の劍道大會で、華々しい成績、見事落第し、日本刀を取り揚じましたが、これを聞いて、女學協會、御定連、やつと生色りついた心地「マレー」これで命拾ひをした

（宮本武藏）

專賣特許

米の華

（御飯の味の素）

經濟と健康―炊飯改善の理想品―

◎米の華―を入れて炊いた御飯は光澤を增し味が素敵に良くなります又心が出來ません

◎米の華―を入れて炊くと飯汁（たねば）が吹出しません又御飯が早く炊けます

◎米の華―を入れて炊いた御飯は腐敗を防ぎますから御辨當や御すし等に最も好適品です

◎米の華―を入れて炊いた御飯はビタミンA・B及ミネシュームを多量に含んでゐますから脚氣の方に特に宜敷うございます

◎使用法は極簡單で水加減した後白米三斤に對して精肉のまゝで三四杯入れて良くかきまはせば宜敷い

發賣元 桑港 高桑商會

特約販賣店 桑港 北米貿易株式會社

新米防長米

風味 光澤 香氣 三ッ揃

桑港 三協商會精米所